

知ろう！ 話そう！ 考えよう！

ボランティア・地域活動見本市

日時：2月18日(日) 11:00～15:30

会場：永福和泉地域区民センター

共同開催



和泉3-8-18、永福町駅より徒歩約5分

入場無料

地域が楽しくなる3つの方法

住んでいる地域のことがまるごとわかり、もっと生活が楽しくなるイベントです。学生から高齢者まで、世代を問わずウェルカム！ なにか地域でやりたい人、つながりたい人、課題を抱えている人、集まろう！

1 地域団体の活動内容展示&体験

永福や杉並エリアで活動する団体が15以上も登場

2 キャストによるボランティアツアー

参加団体の活動をツアーキャストが愉快にご案内

3 永福ライフをもっと楽しくする情報満載

開運・絶景・歴史・グルメ、生活などのワクワク情報

【問合せ先】杉並ボランティアセンター（下記参照）

杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

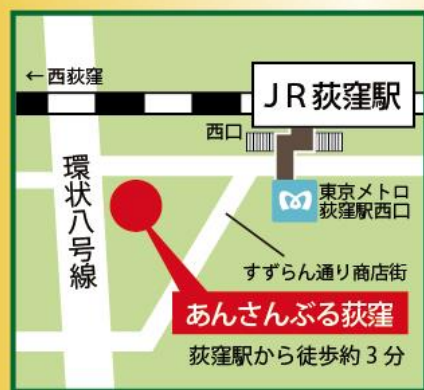
発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0051 杉並区荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪5階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他

杉並のボランティア情報紙



2018

ボラン・て

1月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

特集企画

イマドキの学生事情

～ボランティアってどうよ?! 2nd Season～

今回のインタビュー先は女子美術大学です。「プロジェクト・コラボレーション」という授業を通して、地域のつながり作りの活動に参加した学生に話を伺いました。詳細は2面をご覧ください。



インタビュー協力：女子美術大学

(左から)森くるみさん、沼崎 美香さん、塩田 良さん

センター注目企画：ボランティア交流会のお知らせ
はじめてのボランティア説明会
杉並ボランティアセンターは事務所を移転します！

お問合せは 杉並ボランティアセンター TEL: 5347-3939 / FAX: 5347-2063 / メール: info@borasen.jp

イマドキの学生事情～ボランティアってどうよ?! 2nd Season～

昨年度の特集企画「イマドキの学生事情～ボランティアってどうよ?!～」では、区内六大学の教職員から学生生活や学生のボランティア活動について伺いました。今年度の特集企画では学生へ直接インタビューを行い、率直な意見を発信していきます。まさにイマドキの学生事情です。

今回は、女子美術大学（以下 女子美）4年生の森（もり）くるみさん、沼崎 美香（ぬまざき みか）さん、塩田 良（しおだ つかさ）さんにご協力いただきました。

女子美術大学は、和田地域にある中学校から大学・短期大学まである一貫校です。大学は芸術学部のみ、4学科で構成されており、今回インタビューに協力してくれた3名はアート・デザイン表現学科に在籍しています。同学科の准教授である鈴木理恵子先生に紹介いただきました。塩田さんと沼崎さんはヒーリング表現領域、森さんはメディア表現領域を専攻しています。専攻の異なる3人は3年次の必修科目「プロジェクト・コラボレーション（以下 P・C）」で出会いました。P・Cは8人の教員からそれぞれ企画が出されます。地球環境問題の解決に取り組む団体のキャラクター制作企画の「産学連携キャラクター開発プロジェクト」や、水産総合研究センターと協力して魚や海洋生物をテーマにビジュアル表現をする「水族コンテンツ制作プロジェクト」などがあり、内容は多種多様です。専攻による選択の制限はなく学生が関心のある企画に参加する授業です。

地域の中にある大学・地域を知らない学生

以前は女子美に通うために上京してきた学生の下宿先として、商店街や地域の方が協力していたこともありましたが、そのため地域の方は女子美の学生のことを身近に思っているそうです。しかし、今は寮や賃貸アパートなどを利用して、学生と地域の接点はほとんどなくなっています。今回話してくれた学生も、「和田商店街はただの通学路という感覚でした」と話してくれました。学生の多くは大学があるからその地に通っているため、大学の地元への関心が強いわけではありません。

P・Cで出されている8つの企画のうち、学生と地域の方が一緒に活動する企画は鈴木先生の企画のみでした。企画名は「女子美×親子で街デビュープロジェクト（※）」。和田地域に住む子育て中の母と子への支援活動を展開する〈わだっち〉とのコラボレーションです。企業とのコラボ企画に参加したい学生が多い中、3人は知らない人と接することや、身近な人と共に作り上げることに興味を沸きこの企画に参加しました。

地域の方とのつながりができた

授業にはわだっちのスタッフの他に、地域の親子や商店街の方が参加します。そこでヒントを得て生まれた企画の一つに、商店街の店舗で行うワークショップがあります。小さい子どもでもできるものを学生が提案し、商店街の方々と共に作り上げ、地域に住んでいる親子が参加します。「普通の学生生活であれば、ほぼ接することのない方々との出会いがありました。苦労も多くありましたが、その分とても楽しく展開できたと思います。人生の先輩方の話を聞けて、とても勉強にもなりました」と塩田さんは話します。

森さんは地域のことを聞くために、商店街へ頻りに足を運んだそうです。「伺った先の店主の方だけでなく、買い物に来ている地域の方もやさしい方々でした。伺う予定のお店がわからず、場所をたずねたお父さんと息子の親子が親身になって探してくれました。和田地域の方々のあたたかさを感じた経験の一つです」。

好奇心から活動へ

塩田さんと沼崎さんは女子美に入ってから、ボランティアにも参加していました。塩田さんは、東松島で仮設住宅での活動でした。短大の活動でしたが、大学からの参加も可能でした。「東松島に行ってみたい!」と思って参加しました。そこで、『また来年も会いたいね』と言ってもらえたことが心に残っています。私たちはがれきの撤去作業もできないし、家を建てることもできないけれど、できることがあるということを感じかせてくれましたし、可能性を信じてくれたことがうれしかったです。また会いたいという思いで、3年まで参加しました」。

沼崎さんは、靴箱プロジェクトに参加しました。他大学と連携して行っている活動です。「女子美で箱にペイントをし、他大学で作成した教材や遊具を入れてバン格拉ディッシュの子どもたちに送る活動です。箱にペイントできるなんて面白そう!」と思って参加しました。」と活動に参加した理由を話します。「当時は任意団体で、自費での活動でした。参加人数は4名しかおらず、作成する数が増えてきたことで資金面でとても厳しくなりました。活動を続けるために大学の協力が必要となり、同好会として申請をしました」。

沼崎さんを中心に、靴箱プロジェクトは学内の同好会として正式に認可され、現在は十数名の後輩たちが活動しています。

➤（本誌5面に続く）

2人が活動に飛び込んだ理由は、やってみたい、おもしろそうといった好奇心です。ボランティア活動について「興味があるから参加したので、このような活動もボランティアになるんだなと思いました」と笑顔で話しました。

地域活動で自身の成長

3人が共通して話していたことは、「自分自身にも成長があった」ということです。「この授業で知り合うことがなければ、こんなに商店街や和田地域について関心を向けることはなかったと思います。今では通学路で地域に住むママさんたちとぼったり会うと話せる関係になりました」。



☆センターからのお知らせ☆

【お知らせ】はじめてのボランティア説明会

これからボランティアを始めたい方を対象にした基本的な説明会です。「ボランティアって何?」「どうしたら活動を始められるの?」などのご質問にお答えします。

- 【日 時】1月27日(土)13:30～15:00 / 30日(火)10:00～11:30 / 13:30～15:00
- 【会 場】杉並ボランティアセンター(荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪 5階)
- 【対 象】ボランティア活動に興味のある方
- 【定 員】各5名(先着順)
- 【申込み】各回3日前までに電話もしくはFAXにて
- 【問合せ】杉並ボランティアセンター TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063

ボランティアってなんだろう? まずは話を聞いてみよう!



【お知らせ】ボランティア交流会のお知らせ

あんさんぶる荻窪で出会った皆さまに感謝をこめて交流会を開催いたします。当日はバイオリン演奏やお茶とお菓子を食べながら、楽しいひとときを過ごしたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

- 【日 時】2月23日(金)14:00～16:30
- 【会 場】杉並ボランティアセンター(荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪 5階)
- 【定 員】25名
- 【参加費】無料
- 【申込み】電話もしくはFAXにて 締切:2月20日(火)
- 【問合せ】杉並ボランティアセンター TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063

交流会

皆さまのご来場お待ちしております♪

【重要事項】杉並ボランティアセンターは事務所を移転します!

杉並区社会福祉協議会 杉並ボランティアセンターは、平成30年3月末をもちまして、下記新住所に移転することとなりました。

新住所 〒167-0032 天沼3-19-16 Wellfirm Suginami(ウエルファーム杉並) 4階
TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063
※電話番号の変更はありません。